

◇熊谷良夫君

○議長（伊藤福章君）次に、12番熊谷良夫君の登壇を願います。12番。

（12番 熊谷良夫君 登壇）

○12番（熊谷良夫君）それでは、一般質問をさせていただきます。

「美郷がいちばん、すきです美郷」「町民のだれもが住んでよかった、住みつづけたいと思えるまち」を目指してつくられた美郷町総合計画の基本にあるものは、人口の増加により昔のにぎわいを取り戻すことにあると思います。そのためにも、いろいろな子育て支援策により安心して子供を産み育てることができる環境づくりの整備を図ることは、一番に大切なことと思われます。しかし、その前提となるものは、やはり安心して働ける職場の確保ではないでしょうか。美郷町の基幹産業である農業を中心とした産業の振興策の一つとして、美郷町技能功労者表彰制度の制定を望むものです。今マスコミなどで騒がれているホリエモンなどの株価操作の例もあるように、日本人の美德である勤勉、額に汗して働くということが軽視される風潮にあります。改めてその大切さを認識させる時期に来ているのではないのでしょうか。

当町における企業の誘致も一段落し、若者の雇用の場の確保が難しくなっています。農業を含めた地域産業を育成し、地域の雇用の機会の創設を図り、若者の地域の定着を進めるために魅力ある職場づくりの一環として提案するものです。

現在、国で行っている技能検定制度では、大工や左官などの建設関係だけでなく、和裁や洋裁、またお菓子づくりや料理部門と多岐にわたっております。長年その道一筋で頑張っておられ、後継者の育成にご尽力された方々を表彰して、広くその業績を知らせることにより、その職業に対する新たな認識を持っていただくことができます。また、後継者にとっても身近にその目標がいることにより技術の向上、意欲もわいてくると思われます。

今進められている地産地消、地場の食材を地域の皆様に消費していただくためには、加工技術の向上も必要になってくると思われます。美郷町技能功労者表彰の制度は、すばらしい料理、加工品をつくる方々の育成にも役立つ制度だと思っております。また、この制度ができることにより県表彰、全国表彰への上進の道が大きく開きます。技能グランプリでの優勝者や現代の名工認定者に対する美郷町独自の表彰の受け皿にもなると思われます。

以上のような理由で美郷町技能功労者表彰制度の制定を望むものですが、町長の見解をお伺いいたします。

○議長（伊藤福章君）答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君）熊谷議員のご質問にお答えいたします。

ただいまご指摘になりました働くこと、あるいは人口増につながる定住促進、こういった部分についての町としての考え方は同様の認識を持っておるところです。その上で技能功労者表彰制度の制定についてであります。県内の市町村では、大仙市や横手市など比較的就業人口の多い市では制度化しているようですが、就業者数が少ない町村においては、独自に制度化している事例は現在のところない状況です。

現在、技能にすぐれ功労のある方を表彰する制度は、各市町村からの推薦をもって審査が行われる知事表彰や厚生労働大臣表彰制度がありますが、議員ご指摘の趣旨もまさにそのとおりであります。町では18年度に町が誕生した11月1日を「町の日」と定めるとともに、その記念行事を実施したいと考えておりますが、その際、あわせて各般にわたり町勢の振興に寄与され、町民の模範と認められる行為のあった方々などの町としての表彰を行いたいと考えております。現段階では表彰の種類、対象分野、表彰の基準などの詳細は未定ですが、スポーツや学術、文化、技能の各分野において活躍し、高い評価を受けている方も対象にしたいと考えておりますので、よろしくご理解をお願い申し上げます。

以上をもちまして答弁を終わります。

○議長（伊藤福章君）12番熊谷良夫君、再質問を許可します。

○12番（熊谷良夫君）再質問ではありませんけれども、前向きな答弁と勝手に解釈いたしまして、一日も早い実現を期待して、私の質問を終わります。

○議長（伊藤福章君）これで12番熊谷良夫君の一般質問を終わります。